

通 告 順	議席番号	通 告 者
1	6	高 野 進

## 1 町長選挙の政策について

昨年5月の町長就任から1年が経過しました。

(1) 選挙の際の町長の政策について、具体的にどう計画され実行されたのか、次の5点について伺います。(主に、昨年6月の一般質問の質疑等が基になります)

①安心安全な子育てしやすい町づくりを推進します。

答弁は、1)子育て世代包括支援センターを設置、総合的な相談支援窓口としたい。2)高齢者にもくらしやすい町を目指すため、公共施設のバリアフリー化を進める等。1) 2)のその後は。

②教育環境の整備 人の心と亘理の未来を育てます。

学区の見直しについては、高屋小学校での特認校の結果・推移を見ながら考えたいと答弁。その後は。

③産業の振興 亘理の経済力を育てます。

種々事業実施に地方創生推進交付金・東北観光復興対策交付金等を活用と答弁。種々事業とは何か。

④「亘理町震災復興計画」の継続と迅速化。

2020年度末まで全ての事業が終わるよう力を注ぐとあるが、見通しは。

⑤町のあるべき将来像を、町民の皆様に描いていただき、協働で亘理の未来を創っていきます。

1)「まちづくり協議会」の立ち位置への考え方への答弁は「今後検討。時間を頂きたい」等。その後は。

2)「5地区のまちづくり協議会に地区ごとに10年後、20年後の将来像を描いていただき、まちづくりを推進して参ります」と「政策」にある。その後の進展状況は。

(2) 具現化出来ない政策は何か。またその問題点と課題は。

(3) 今後の町政運営の問題点と対応策は。

(4) 町長就任から1年間の自己採点は100点満点で何点か。

通告順	議席番号	通告者
2	14	鈴木邦昭
<p><b>1 移動投票所の導入について</b></p> <p>(1) 本町では、選挙の投票率が低い。投票率を上げるには、どのような施策を考えているのか。</p> <p>(2) 他県では、「移動投票所」を試験的に導入し、投票率のアップを目指しているという報道があった。本町も、試験的に移動投票所を導入することについての考えは。</p> <p><b>2 防災・減災対策について</b></p> <p>(1) 東日本大震災から8年が経過した。職員の防災に対する基本的な姿勢はどのように改善され、防災に対する意識向上はどのように図られているか。</p> <p>(2) 災害が発生した場合、職員は、その災害に適応した非常配備につく招集基準を把握出来る体制をとっているのか。</p>		

通告順	議席番号	通告者
3	17	佐藤アヤ
<p><b>1 定住対策について</b></p> <p>定住対策の取り組みについて3点伺う。</p> <p>(1) 空き家バンク制度等の導入についての考えは。</p> <p>(2) 定住相談の窓口設置は。</p> <p>(3) 地域おこし協力隊の導入は。</p> <p><b>2 子育て支援について</b></p> <p>子育て支援の充実について3点伺う。</p> <p>(1) 2020年4月より本町では子育て世代包括支援センター（ネウボラ）を設置するが、名称を公募してはどうか。</p> <p>(2) 産後ケア事業の取り組みの考えは。</p> <p>(3) 相談しやすい環境づくり（0歳～18歳）の充実については。</p>		

通告順	議席番号	通告者
4	12	大槻和弘

## 1 鳥獣被害防止活動の担い手対策等について

亘理町の鳥獣による被害は、農業従事者の高齢化や、それに伴う耕作放棄地の増加、それに便乗する形で野生鳥獣の生息分布の拡大などに伴い、農業被害は深刻化し、また住環境の悪化も懸念され始めている。このような中で、被害防止の担い手対策も喫緊の課題となっている。

- (1) 鳥獣被害防止に貢献している方々を、広く紹介することにより、技術の継承と現場における被害防止活動を推進することになることから、鳥獣被害対策優良活動に対して一定の基準を設け、表彰制度を検討してはどうか。
- (2) 狩猟者の高齢化が進む中で、農産物の鳥獣被害を減らしていくためにも、次世代の担い手が求められている。狩猟免許取得にかかる費用を助成し、若手狩猟者などの人材育成をしてはどうか。

## 2 子ども・子育て支援事業について

本町では、「子ども・子育て支援制度」への対応を主としつつ、町民ニーズへの対応やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた地域・社会での取り組みの推進を目指し「亘理町子ども・子育て支援事業計画」を策定している。

計画は平成27年度から5年間で、今年度が最終年となるが、待機児童問題等や新たな幼保無償化の対応も併せ、その進捗と見通しはどうか。そして新たな課題も含め次期計画にどうつなげるのか。